

コカヌエネ

こえを、きこう

この5月、浦幌アイヌ協会（差間正樹会長）が、計64体の遺骨返還を求めて北海道大学を提訴しました。この問題に絡み、団体として北海道大学を提訴するのは、浦幌アイヌ協会が初めてです。原告の数は計4個人、1団体になりました。

アイヌ遺骨
返還請求訴訟
ニュースレター

No.08

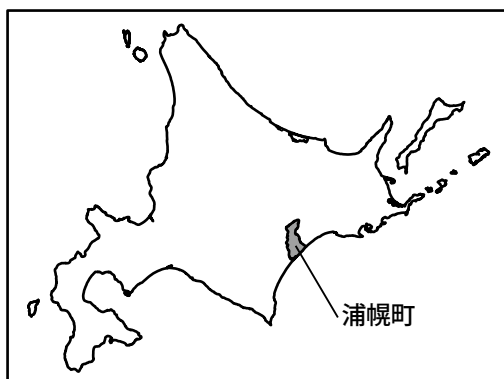
2014年5月31日
北大開示文書研究会

北海道大学「北海道大学医学部アイヌ人骨収蔵経緯に関する調査報告書」（2013年）収録のリストによれば、同大学医学部が浦幌町内で発掘・収集したアイヌ遺骨は計64体。うち63体は医学部解剖学第二講座が1934年（昭和9年）10月27日から10月31日にかけての5日間に、同町愛牛地区で「解剖学研究資料収集のため、旧墓地を発掘」したとされ、うちわけは、性別不明の子どもが14人、成人女性12人（1人は推定）、成人男性14人（4人は推定）、性別

不明の成人が23人。北大によって個人特定の可能性があると考えられているのは、このうち子ども一人の頭骨だけです。

また北海道大学は、1935年に同町十勝太地区で収集したとする頭骨1体（性別、年齢、収集の経緯など一切不明）を保管しています。北海道大学作成のリストからの抜粋を4ページに掲載しました。

北大開示文書研究会



こえを、きこらう

コカヌ エネ

アイヌ遺骨返還請求訴訟

第8回口頭弁論(2014年4月4日)での

原告・はたけやまさとし 畠山敏さんの意見陳述

私、畠山敏は、和人最古の記録「津軽」統志(つがるいっしゅうし)(1670年)に「まふへつ村アイヌ人百人ほど。大將クヘチャイン」と記述されたモベツコタンに生まれ育ったアイヌ人漁師です。私の祖父は、明治8年(1875年)の紋別場所の戸籍簿に「幌内から湧別までの海岸筋・川筋・山奥までの10ヶ村92戸361人を統率した「アイヌ會長」と記述されている(新紋別史上巻)キケニンパ(後に大石蔵太郎と改名)の血を引く先住民族の漁師であり、初代の北海道ウタリ協会(現アイヌ協会)紋別支部長でもありました。私はその父から漁業経営と支部長の要職を引き継ぎました。この10ヶ村にはそれぞれの墓地があり、私の先祖は、この10ヶ村を統率していたのです。

今回引渡しを求めている遺骨と同地域から収容された310体の遺骨は「元紋別墓地改葬納骨堂」に納骨されており、毎年私どもが先祖供養の催事(イチヤルパ)を執り行っておりです。その経緯について申し上げます。と、明治17年頃から昭和18年頃まで現在の元紋別11番地に私たちの祖先が埋葬されていた墓地の一つがありました。その後都市化が進み、遺骨が傷つけられることをおそれ、ウタリ協会紋別支部が市に移転改葬を強く要望し、第一次紋別市元紋別墓地移転改葬事業が平成元年9月13日から9月29日まで行われました。96体の遺体を収容し、遺体ごとに火葬し、紋別墓園に新しく建立した納骨堂「元紋別墓地改葬納骨堂」に遺骨を納め納骨堂の開眼式を挙行し第一次事業を完了しました。さらに第一次調査でもれていた部分について平成8年7月、ウタリ協会紋別支部は「旧元紋別墓地に接続している土地であるから、埋葬遺体が存在する可能性が高いので再調査を要望する」と市へ要望、その結果、



畠山敏さん(紋別アイヌ協会会長)。

2014年1月31日、札幌弁護士会館で、平田剛士撮影。



平成9年9月9日から10月31日の期間で第二次旧元紋別墓地移転改葬事業を行いました。

214 遺体収容し、紋別市葬苑(火葬場)において焼骨・納骨し、紋別墓園「元紋別墓地改葬納骨堂」において霊を弔いました。その後毎年アイヌ協会紋別支部の重要な事業として先祖供養のイチャルパを執り行っております。

今回引渡しを求めている遺骨はモベツコタンに住んでいた私達の先祖の遺骨であり、私達により、これら

の遺骨と同様に、先祖供養されるべき遺骨であり、私どもの手元に存在しないことが耐えがたい異常事態なのです。目的や経緯はどうであれ、我々の了解を得ずに持ち去られたことは事実です。

早急に返還されることは当然ですが、併せて違法に持ち出したことに對し、深い悲しみと強い怒りを禁じ得ません。納得できる謝罪を求めます。

北海道大学医学部解剖学第二講座が1934年(昭和9年)10月27日～10月31日にかけて、浦幌町愛牛で「解剖学研究資料収集のため、旧墓地を発掘」したとされる遺骨の一覧

人骨の情報					
通し番号	北大番号	部位	性別	推定年齢	個人特定
1	713	全身骨	男?	成人	否
2	714	全身骨	男	成人	否
3	715	頭骨	不明	小人	否
4	716	全身骨	不明	成人	否
5	717	頭骨	不明	成人	否
6	718	全身骨	男	成人	否
7	719	全身骨	不明	成人	否
8	720	全身骨	男	成人	否
9	721	頭骨	不明	成人	否
10	722	全身骨	不明	成人	否
11	723	全身骨	不明	成人	否
12	724	全身骨	男	成人	否
13	725	全身骨	男	成人	否
14	726	全身骨	女	成人	否
15	727	全身骨	男?	成人	否
16	728	全身骨	男	成人	否
17	729	全身骨	女	成人	否
18	730	頭骨	不明	成人	否
19	731	全身骨	不明	成人	否
20	732	全身骨	女	成人	否
21	733	頭骨	不明	成人	否
22	734	頭骨	男	成人	否
23	735	全身骨	男	成人	否
24	736	全身骨	不明	成人	否
25	737	頭骨	不明	成人	否
26	738	頭骨	不明	成人	否
27	739	全身骨	女	成人	否
28	740	全身骨	男	成人	否
29	741	全身骨	不明	成人	否
30	742	頭骨	不明	成人	否

31	743	頭骨	不明	成人	否
32	744	全身骨	男?	成人	否
33	745	全身骨	女	成人	否
34	746	全身骨	女	成人	否
35	747	全身骨	女?	成人	否
36	748	頭骨	不明	成人	否
37	749	頭骨	不明	成人	否
38	750	頭骨	不明	成人	否
39	751	頭骨	不明	成人	否
40	752	頭骨	不明	成人	否
41	753	全身骨	女	成人	否
42	754	全身骨	女	成人	否
43	755	全身骨	女	成人	否
44	756	全身骨	女	成人	否
45	757	全身骨	男?	成人	否
46	758	全身骨	男	成人	否
47	759	頭骨	不明	成人	否
48	760	頭骨	不明	成人	否
49	761	頭骨	不明	成人	否
50	762	頭骨	不明	小人	否
51	763	全身骨	不明	小人	否
52	764	頭骨	不明	小人	否
53	765	全身骨	不明	小人	否
54	766	頭骨	不明	小人	否
55	767	頭骨	不明	小人	否
56	768	頭骨	不明	小人	否
57	769	頭骨	不明	小人	否
58	770	頭骨	不明	小人	否
59	771	頭骨	不明	小人	否
60	772	頭骨	不明	小人	可能性あり
61	773	頭骨	不明	小人	否
62	774	全身骨	不明	小人	否
63	775	頭骨	不明	小人	否

1935年(昭和10年)、浦幌町十勝太で収集したとされる遺骨

人骨の情報					
通し番号	北大番号	部位	性別	推定年齢	個人特定
64	776	頭骨	不明	不明	否

北海道大学「北海道大学医学部アイヌ人骨収蔵経緯に関する調査報告書」(2013年)p172～174から抜粋。通し番号と色分けは北大開示文書研究会による。

アイヌ遺骨返還請求訴訟ニュースレター第8号
 発行日 2014年5月31日
 編集発行 北大開示文書研究会
 共同代表:清水裕二、殿平善彦
 〒077-0032
 北海道留萌市宮園町3-39-8(三浦忠雄方)
 TEL(FAX)0164-43-0128
<http://hmjk.world.coocan.jp/index.html>
 電子メール ororon@jade.plala.or.jp
 アイヌ遺骨返還訴訟原告へのご支援は、北大開示文書研究会が窓口を開いています。
 ゆうちょ銀行振替 02790-1-101119